

# 安全の為に必ずお守りください

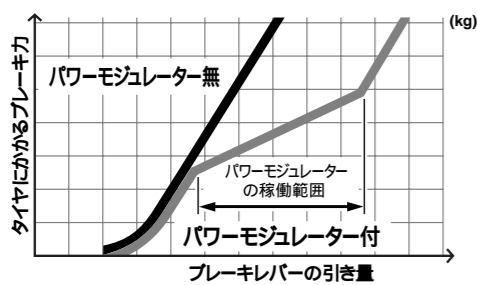
## 警告

- 自転車のブレーキは製品のモデルによって取扱いが多少異なることがあります。したがって、ブレーキレバーへの入力や自転車の操作性などを含め、個々の自転車のブレーキシステムの適切な操作を充分理解慣れるようにしてください。ブレーキシステムの操作が適切でないと、自転車のコントロールを失い事故のもとになり、また大怪我を招くとも限りません。適切な操作については、自転車専門店にご相談いただき、また自転車の取扱い説明書もよくお読みください。ご自分の自転車にお乗りになって、ブレーキ操作などを練習していただくことも大切です。
- 後用のブレーキを前ブレーキにはご使用できません。
- 製品を取付ける時は、必ず取扱い説明書等に示している指示を守ってください。またその際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。ボルトまたはナット等が緩んだり、製品が破損すると、突然に転倒して怪我をする場合があります。
- ブレーキシューに油脂が付かないように注意してください。シューに油脂が付いた場合はシューを交換してください。ブレーキが効かなくなつて危険です。
- ブレーキケーブルはサビあるいはほつれが無い点検し、ある場合は速やかに交換してください。ブレーキが効かなくなつて危険です。
- 乗る前には必ず前後のブレーキが正しく作動するかどうか確認してください。
- 雨天時は制動距離が長くなります。スピードを控えて、早めの滑らかなブレーキ操作をしてください。
- 路面がぬれていると、タイヤがスリップしやすくなります。タイヤがスリップすると転倒して危険ですので、スピードを控えて、早めの滑らかなブレーキ操作をしてください。
- 取扱い説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

## 注意

パワーモジュレーターは、ある一定範囲のブレーキ力に対して、ブレーキレバーの引き量を増やすことにより、ブレーキのコントロールをしやすい状態にする装置です。もしパワーモジュレーターの稼働範囲を超えた場合には、通常のVブレーキ(敏感でパワフルなブレーキ)になります。この場合、ブレーキが効きすぎて車輪がロックする場合がありますので、パワーモジュレーターの機能特性を充分ご理解・ご体験されたうえでお使いください。このようにパワーモジュレーターは、車輪のロック防止装置ではありません。

### パワーモジュレーターのブレーキ性能

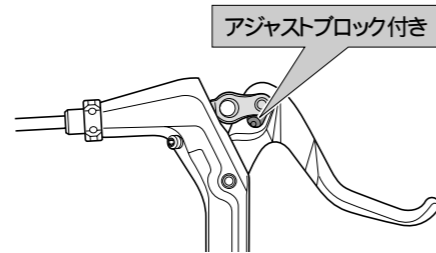


## BR-M770に関するお願い

### 警告

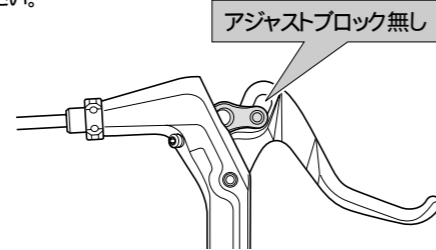
- M770ブレーキセットは、BL-M770/ST-M770ブレーキレバーのワイヤー掛け部のアジャストブロックにより、レバーの入出力関係を変えることができます。このアジャストブロックを取外すと、ブレーキ制動力が急激に増加し、少しのブレーキレバー入力で高レベルのブレーキ性能が楽しめいただけます。したがって通常の入力では、ブレーキの効き過ぎによる前転倒等により重傷を負うことがあります。アジャストブロックを取外す場合は、下記の事項を充分に理解した上で実施してください。**アジャストブロックの取外し後は、ブレーキ特性を充分体得されてからご使用ください。車の飛び出し等、不意のブレーキ操作による前転倒の恐れがあります。**

#### 1) アジャストブロックを取外さない状態 (工場出荷標準仕様)



#### 2) アジャストブロックを取外した状態

少しのブレーキレバー入力で " 充分な制動力 " が発揮され、高レベルのブレーキ性能が楽しめいただけます。しかし、不用意にこれまでのブレーキレバー入力で操作されると、前転倒等の恐れがあります。アジャストブロックを取外す場合は、まず時速10km/h程度で繰り返し繰り返しブレーキ操作を練習し、ブレーキ特性を充分体得してから徐々に速度を上げてください。初心者は特にご注意ください。



- BR-M770 Vブレーキには、BL-M770/ST-M770のように、サーボウェブ及びブレーキ性能の調整ができるVブレーキ対応レバーをご使用ください。BL-M771(3フィンガーレバー)ブレーキレバーの場合は、VブレーキにSM-PM40パワーモジュレーターを使用してください。パワーモジュレーターを使用しないと、極端な効きすぎを起こす可能性があり大変危険です。

### 使用上の注意:

- ブレーキとブレーキレバーは、推奨のセットで使用するにより、最も効率よくマルチコンディションシステムの性能が発揮されます。
- ブレーキシューの溝が無くなるまで摩耗した時には、シューを交換してください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の劣化は保証いたしません。
- 取扱い方法及びメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。

SI-8EM0A-001

# マルチコンディション ブレーキシステム

## ご使用方法

### マルチコンディションブレーキシステム

雨天を初めとするさまざまな状況変化に性能が左右されにくい制動性能とコントロール性能を目指すブレーキシステムです。

機能を十分に発揮させるために次のラインナップによる使用を推奨いたします。

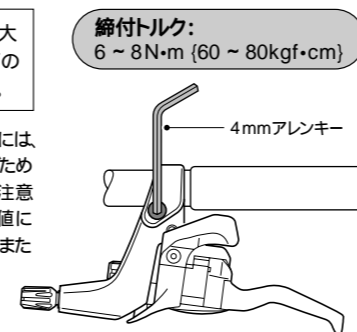
シリーズ	DEORE XT	
ブレーキレバー	BL-M770/ ST-M770	BL-M771
Vブレーキ	BR-M770	SM-PM40付 BR-M770
ブレーキケーブル		

## ブレーキレバーの取付け

4mmアレンキーを使用してブレーキレバーを取付けます。

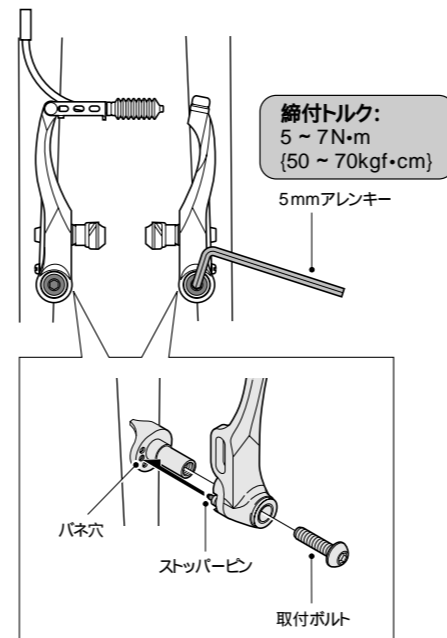
ハンドルグリップは最大外径がφ32mm以下のものをご使用ください。

カーボンハンドルの場合には、ハンドルへの損傷を防ぐために締め過ぎないようにご注意ください。適切なトルク値に関しては完成車メーカーまたはハンドルメーカーで確認ください。

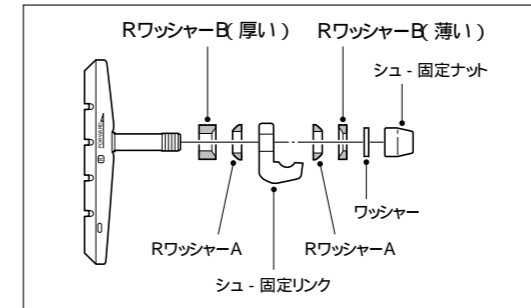
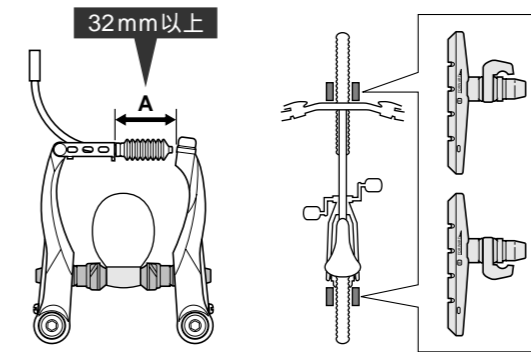


## Vブレーキの取付け

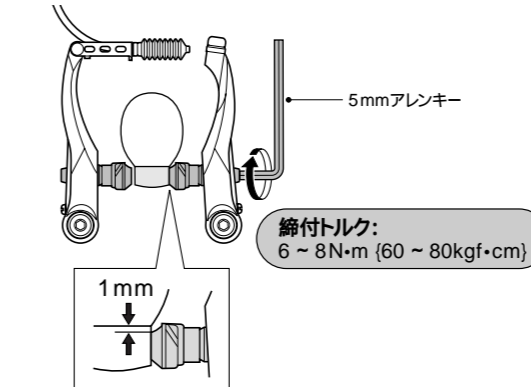
1. フレーム台座のパネ穴のまん中に、ブレーキ本体のストップバーピンを入れ、ブレーキ本体を取付ボルトでフレームに固定します。



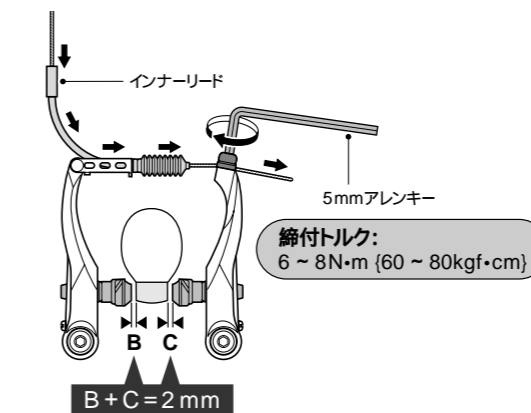
2. シュ - をリムに押し当てた状態で、A寸法が32mm以上確保できるように、RワッシャーB(厚い)/薄い を入れ替えて、シュ - の出たを調整します。



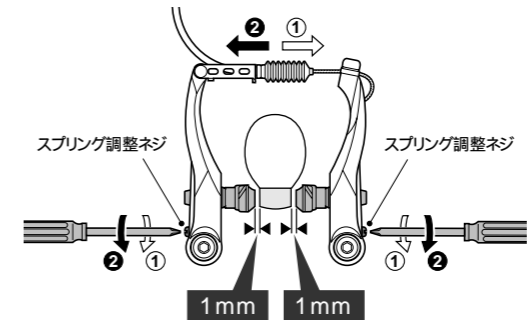
3. シュ - をリムに押し当てた状態で、シュ - 固定ナットを締付けます。



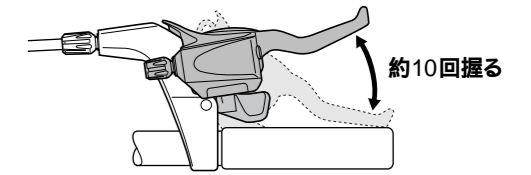
4. インナーケーブルをインナーリードに通し、シュ - クリアランスの左右合計が2mmの状態、ケーブル固定ボルトを締付けます。



5. スプリング調整ネジでバランス調整をします。

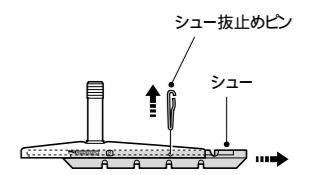


6. ブレーキレバーをグリップにつくまで約10回ほど握り、各部に異常がないこと、シュ - クリアランスを再確認してからご使用ください。

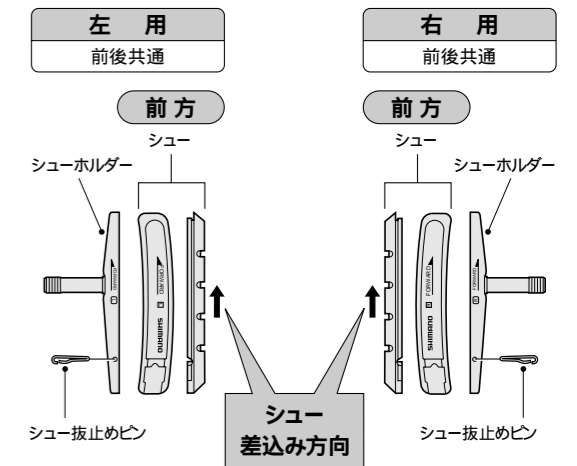


## カートリッジシューの交換

1. シュー抜止めピンを取外し、シューホルダーからシューを溝にそって抜取ります。



2. シューホルダーとシューには、右用・左用があります。方向とピン穴の位置に注意し、新しいシューを溝にそって入れます。



3. シュー抜止めピンを確実に差込みます。